

オンライン交流会

青少年交流事業が2年連続で中止となったため、ベルギー・シャルルロア市との良好な関係の維持と、オーストラリア・アデレード市との新たな交流関係の構築を目指してオンライン交流会を実施しました。

交流前に行った3回の事前研修では、交流相手の文化を知る機会や英語で作成したプレゼンテーションを英語の先生に見てもらう時間を設け、しっかりとプレゼンテーションの準備をしました。

中学生の交流会は、7月25日（日）の午後3時から約1時間半実施しました。交流会には、ベルギー・シャルルロア市のホストファミリー9組と担当者が参加し、9名の中学生が英語で姫路市や日本文化を紹介しました。何度も日本に来たことがあるホストファミリーもいましたが、彼らも知らない情報を盛り込んだ内容だったので、興味を持って聞いてもらうことができました。



高校生の交流会は、17名の生徒がオーストラリア・アデレード市の Adelaide Botanic High School で日本語を勉強している18名の生徒と3回（7月30日（金）・8月6日（金）・7日（土））にわたり実施しました。英語で姫路市や日本文化を紹介するだけでなく、料理のデモンストレーションを行ったり、折り紙で鶴の折り方を教えながら一緒に折ったりしました。日本語を話す時には、どう言えば伝わりやすいのかを考えました。アデレード市の生徒から

は、オーストラリアの先住民であるアボリジニについての紹介がありました。日本ではあまり知ることができない内容だったので、生徒は興味深く聞いていました。

今回の交流会を通して、少しでもお互いの文化の理解が深まったことをうれしく思います。また、プレゼンテーションのためにしっかりと調べることは、両都市の生徒にとって改めて自分の国や文化を知る良い機会となりました。

